

5大学大学院連合小児発達学研究所 福井校

■連合小児発達学研究所の意義・背景

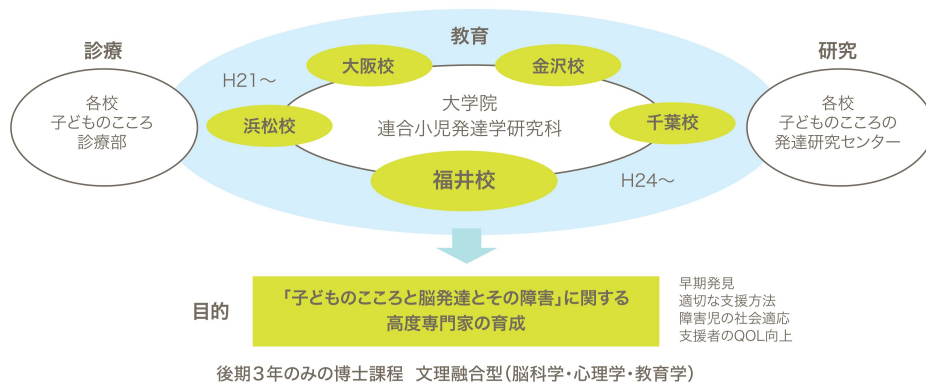
自閉症スペクトラム、注意欠陥多動性障害などの発達障害児を支える環境には、親・養育者のもとより、学校教員、スクールカウンセラーなどの心理士、医師・看護師などがチームを組んで、発達障害をもつ子ども一人ひとりに対してアセスメントを行い、それに基づいてそれぞれの子どもにあった教育・養育支援をしていくことが必要とされています。そのためには、科学的根拠に基づいた子どものころに関する脳科学・心理学・教育学などの専門的知識が必要とされます。しかし、現在の我が国ではその専門家が質・量ともに十分ではありません。そのため、親や学校の先生はどうしたら良いか分からず、負担が増え、家庭環境や学校環境にさまざまな影響を及ぼすという負の循環が問題となっています。そこで、文部科学省の指導の下、発達

障害および子どものころに関する高度専門家の育成を目指し、平成21年度に大阪大学を基幹校として金沢大学・浜松医科大学の3校による博士後期課程の大学院「連合小児発達学研究所」が発足しました。そして平成24年度から、福井大学と千葉大学が加わり、5大学の連合大学院として拡充されることになりました。この大学院は、子どものころと発達障害を専門的に研究・教育する機関として、我が国初めてのものです。福井大学では、連合大学院に併せて、平成23・24年度に「子どものころの発達研究センター」および「附属病院子どものころ診療部」を開設し、これにより「教育」「研究」「診療」を3つの柱として、発達障害と子どものころの問題に対して専門的に取り組む体制が整いました。



副研究科長(福井校代表)
松崎 秀夫 教授
Prof Hideo Matsuzaki

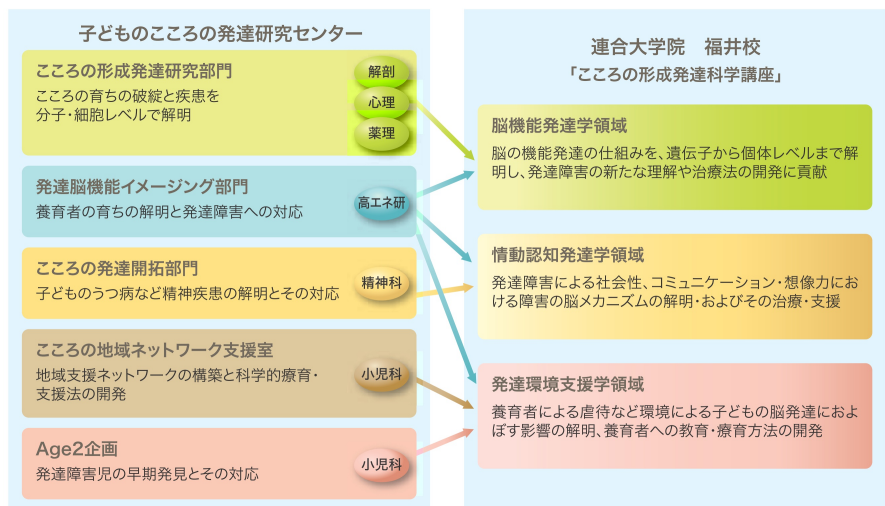
急務！ 発達障害支援の専門家の育成 連合小児発達学研究所の枠組み 大阪大学大学院 大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学 連合小児発達学研究所



■教育の内容

本連合大学院は、学部や修士課程を卒業・修了された方だけでなく、学校教員や心理士、医師・看護師また社会福祉行政などに従事されている方を主な対象としています。講師陣には、脳科学、心理学、教育学および小児医学、精神医学の専門家が揃い、福井校の講師だけでなく、他校に所属する講師の講義をテレビおよびe-learningシステムで受けることができます。大学院3年間で、講義を受け、自身でテーマを決めて研究を行い、成果を博士論文としてまとめ、審査によって「小児発達学博士」を取得することができます。そして将来、得た知識や研究成果を基に社会で大いに活躍していただくことで、発達障害児自身の社会適応とその環境の改善に大きく貢献できるものと期待しています。

連合小児発達学研究所 福井校 (福井大学子どものころの発達研究センターとの連携)



安倍 博 教授
Prof Hiroshi Abe



友田明美 教授
Prof Akemi Tomoda



小坂浩隆 ●●●
#####

主な論文

1. Kamenoy Y, Iwata K, Matsuzaki H, et al. Serum levels of soluble platelet endothelial cell adhesion molecule-1 and vascular cell adhesion molecule-1 are decreased in subjects with autism spectrum disorder. Mol Autism. 4(1):19, 2013.
2. Iwata K, Matsuzaki H, Tachibana T, et al. N-ethylmaleimide-sensitive factor interacts with the serotonin transporter and modulates its trafficking: implications for pathophysiology in autism. Mol Autism 5(1):33, 2014.
3. Maekawa M, Yamada K, Toyoshima M, et al. Utility of Scalp Hair Follicles as a Novel Source of Biomarker Genes for Psychiatric Illnesses. Biol Psychiatry in press.
4. Fujisawa TX, et al. Visual attention for social information and salivary oxytocin levels in preschool children with autism spectrum disorders: An eye-tracking study. Front Neurosci 8:295, 2014.